

必ずお守りください

スプレー缶は必ず中身を (エアゾール缶) 使いきりましょう!!

安全

安心



火災事故が多発しています!

中身の残ったスプレー缶がごみに出され、ごみ収集車やごみ処理施設で、火災が発生しています。

正しい

ごみへの出し方4ステップ

正しく使って、安全なごみ処理を。

step 1

缶を手で振って
中身の有無を
確認してください

step 2

「シャカシャカ」
「チャブチャブ」
など音がしたら、
まだ中身が残っています。

**必ず使い切り
ましょう**

step 3

音がしなくても、まだ中身やガスが
残っている場合があります。

**「ガス抜きキャップ(ボタン)」
で出しきってください。**

※火気のない風通しの良い屋外でおこなってください。
※「ガス抜きキャップ(ボタン)」がない場合、
スプレーボタンを押して完全に出しきってください。

step 4

地域のごみ出し
ルールを守って
出しましょう

中身の **ガス** を出しきるために ガス抜きキャップ(ボタン)を 使いましょう!

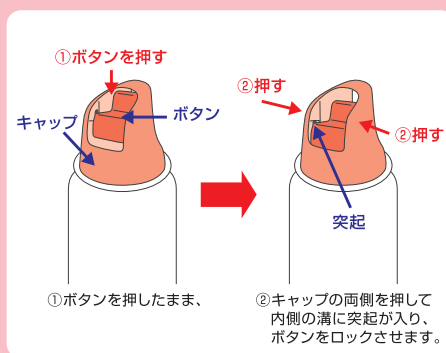
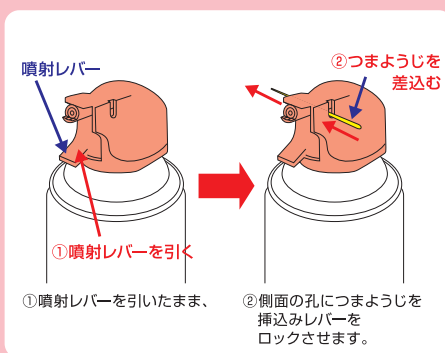
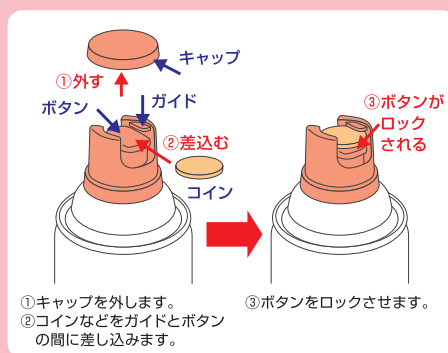
スプレー缶にはガスを出しきるための
【ガス抜きキャップ(ボタン)】が装着されています。

※商品によっては

【ガス抜きキャップ(中身排出機構)】
【ガス抜きキャップ(残ガス排出用)】
【ガス抜きキャップ】

等の表記を行うものがあります。

ボタン、キャップ等の使い方及び使用例



但し、下記のスプレー缶(エアゾール缶)商品には、ガス抜きキャップ(ボタン)は付いていません。

例 炭酸ガス、窒素ガス等の不燃性ガス使用商品(詳しくは商品の表示をご覧ください)

ガス抜きキャップ(ボタン)を使うときは…



中身を使い切ってから、

風通しが良く、火気のない屋外で、
風下に向けて、人などにかからないように

新聞紙などに吹きつけるなどをして、
周囲への飛散にご配慮ください。

ガス抜きキャップの形状、使用方法は、商品によって異なります。商品に記載された使用説明を必ずご覧ください。

※ガス抜きキャップについてのお問い合わせは、商品に記載の“お客様相談室”や“販売元”にお尋ねください。